

平成26年度 校内研修会 自評

研究主題

自ら考え、意欲的に学び合う児童の育成

ー I C T の効果的活用を通してー

平成26年7月2日(水)	<单元名>国語科「世界でいちばんやかましい音」
第5校時 5年	<授業者>鶴見 克巳

1 本時と研究主題との関連(研究主題に迫るために目指す授業(実行したこと)・理由)

- ・黒板をデジタル化し、意見交換、発表の内容を統合していく活動。I C T機器を活用することでリーフフレット作りに向けて有効な取り組みとなるかについての検証。

2 授業の反省(○学びが成立 ●学びが停滞した場面とその原因) 児童の姿をとらえて

- 色分けをしながら、物語のおもしろさについて仲間分けをした点。児童全員の意見を黒板に掲載したが、情報量が多く、多くの時間を要した。

3 研究会から学んだこと、これからの課題、今後取り組んでいきたいことなど(研究主題と関連付けて)

- ・黒板の板書のレイアウトは、「半分が板書、半分がI C T機器」が理想的であること。
- ・I C T活用がメインでなく、サブ的な形で行うことがより有効であること。